



MS341 - 58031 / 58032 フロントスポイラー (LED付き)

取付・取扱要領書

この度はTRDフロントスポイラーをお買い上げ頂き誠に有難うございます。
本書は本製品の取付け、取扱いについての要領と注意を記載してあります。
取付け前に必ずお読み頂き、正しい取付け、取扱いを実施してください。
なお、本書の取扱い上のご注意（ご使用になるお客様へ）は必ずお客様にお渡しください。

本商品は未登録車への取付けは出来ません、取付けは車両登録後に行ってください。

品番・適合車種

品番	塗装色	備考
MS341-58031-A0	ホワイトパールクリスタルシャイン (070)	アルファード エアロ '18.01~
MS341-58031-C0	ブラック (202)	
MS341-58031-C1	スパークリングブラックパールクリスタルシャイン (220)	
MS341-58032-NP	未塗装品 (プライマー処理品)	

・最新の適合情報はTRDカタログサイトをご覧ください。 <http://www.trdparts.jp/>

構成部品

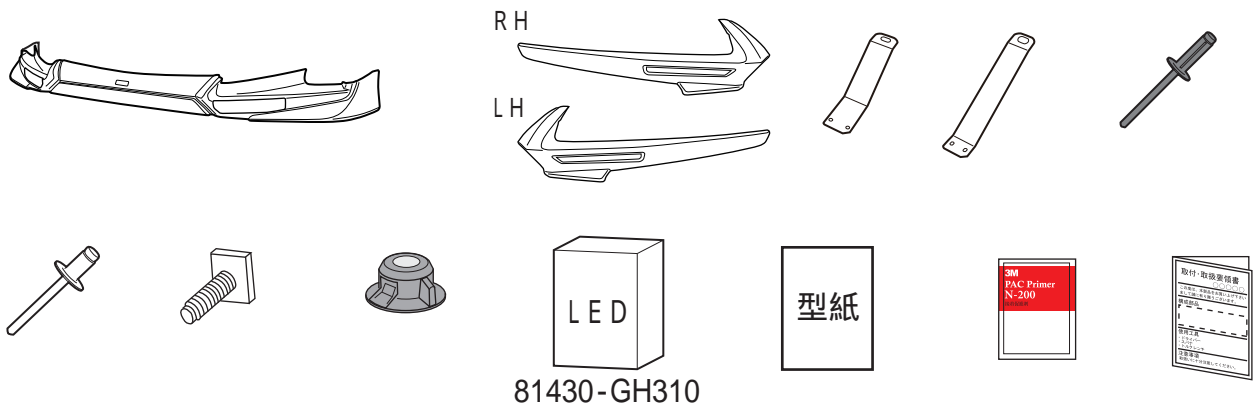
No.	品名	個数	備考
	フロントスポイラー	1	
	アウターピース R/L	各1	
	ブラケットA	2	短
	ブラケットB	2	長
	リベットA	4	黒
	リベットB	8	銀
	スクエアヘッドボルト	2	M6
	クリップナット	2	
	LEDデイタイムランプキット	1	小箱
	型紙	1	
	PACプライマー N-200	1	赤袋
	取付・取扱要領書	1	本書

以下、MS341-58032-NP（未塗装品セット）のみに同梱

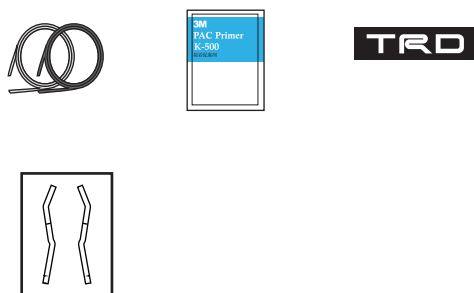
No.	品名	個数	備考
	モール	各1	黒/ グレー : L = 1200
	PACプライマー K-500	1	青袋
	エンブレム	1	
	マスキングテープセット	1	

確認・本商品が到着後、すぐに本体に破損がないこと、付属品が全てそろっていることを確認してください。

構成部品図



以下、MS341-58032-NP（未塗装品セット）のみに同梱



モール 推奨使用色

塗装色（色記号）	モール色
ホワイトパールクリスタルシャイン (070)	グレー
ブラック (202)	ブラック
スパークリングブラックパールクリスタルシャイン (220)	ブラック
ダークレッドマイカ (3Q3)	ブラック
グラファイトメタリック (4X7)	ブラック

81430 - GH310

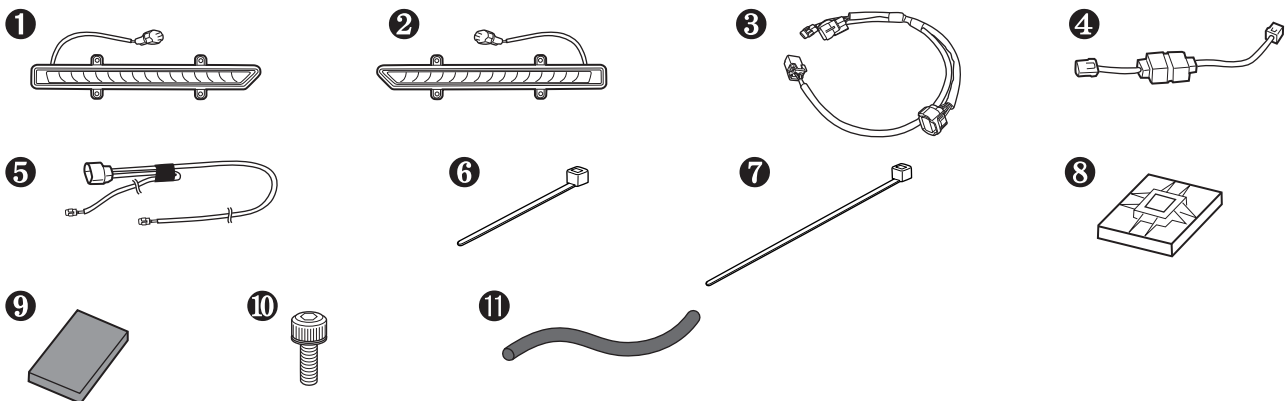
LEDデイトムランプ

構成部品

No.	品名	個数	備考
①	LEDランプ RH	1	
②	LEDランプ LH	1	
③	ハーネス A	1	ヒューズボックス付
④	ハーネス B	1	ユニットボックス付
⑤	ハーネス C	1	LED接続ハーネス
⑥	結束バンド	20	L = 150
⑦	結束バンド 大	1	L = 200
⑧	結束バンドベース	1	
⑨	クッション	9	100 × 50
⑩	ボルト	8	M3 × 8
⑪	コルゲートチューブ	2	10 L = 200

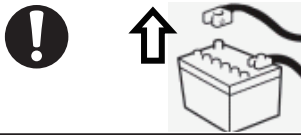
確認・本商品が到着後、すぐに本体に破損がないこと、付属品が全てそろっていることを確認してください。

構成部品図



LEDデイタイムランプ配線取付け上の注意事項

- ❗ ビニールテープをご使用の際は、必ず難燃性の耐熱ビニールテープを使用してください。
推奨品：V9650-0484（耐熱ビニールテープ・灰色）
- ❗ バッテリー復元作業後は、機能部品に初期化や調整が必要な場合があります。
取付け作業後は必ず該当車両の修理書に従い、初期化・調整作業の有無をご確認ください。



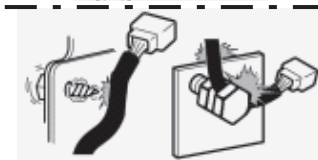
取付ける前に

- ・作業前に、必ずバッテリーの⊖側ケーブルをはずす。

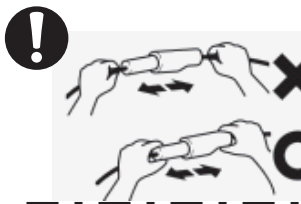


部品を取付ける際は

- ・部品サイズにあった工具を使用する。



- ・部品の裏側に注意して、配線の噛み込みやビスの接触、断線に十分に注意する。



配線の取りまわしは

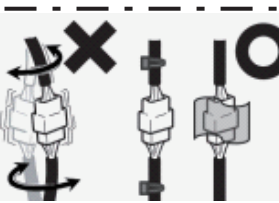
- ・コネクターは必ず本体を持ってはずし、配線は引っ張らない。



- ・バリ・エッジ部は、ガムテープ等で保護をする。



- ・コネクターは「カチッ」と、音がするまで確実に接続して、配線は無理なチカラで引っ張らない。



配線のクランプは

- ・結束バンドは配線が動かない程度に締めて、締めすぎない。
- ・結束バンドの余った部分は、エッジにならないようにカットする。
- ・カットした末端が、ほかの配線と接触しないようにする。
- ・コネクターが振動により異音がないように、確実に固定する。

⚠ 注意

- ❗ バッテリー接続中に作業を行なう際は、エアバックセンサー等に衝撃を与えないように十分に注意して作業を行なってください。

目次

1. 表紙、適合表、構成部品表、構成部品図	1 ~ 3
2. 取付け・取扱いご注意(作業者様へ)	4
3. 配線取付け上の注意事項	5
4. 目次、取付けに必要な工具・保護具・消耗品、取付構成図	6
5. 取付け要項	7 ~ 20
6. 取付け完了後の点検、注意事項	20
7. 回路図	21

取付けに必要な工具・保護具・消耗品

- ・一般工具・プラスドライバー・クリップリムーバー
- ・加工用工具(ハサミ・カッター等)・ヤスリ・保護メガネ
- ・電動ドリル(刃: 3.0mm/5.0mm/6.0mm/10.5mm)・ホールソー(25mm)
- ・軍手・保護シート・保護テープ・マスキングテープ・ビニールテープ(耐熱)
- ・ホワイトガソリン又はイソプロピルアルコール(IPA)・清潔なウエス

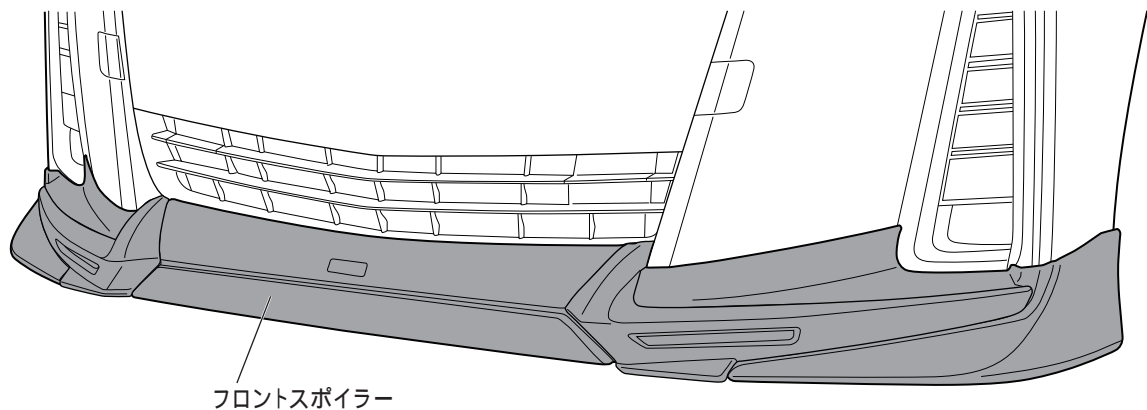
本商品は、1年・20,000Kmの保証を実施致します。

(1年または20,000Km走行時点のいずれか早い方まで)

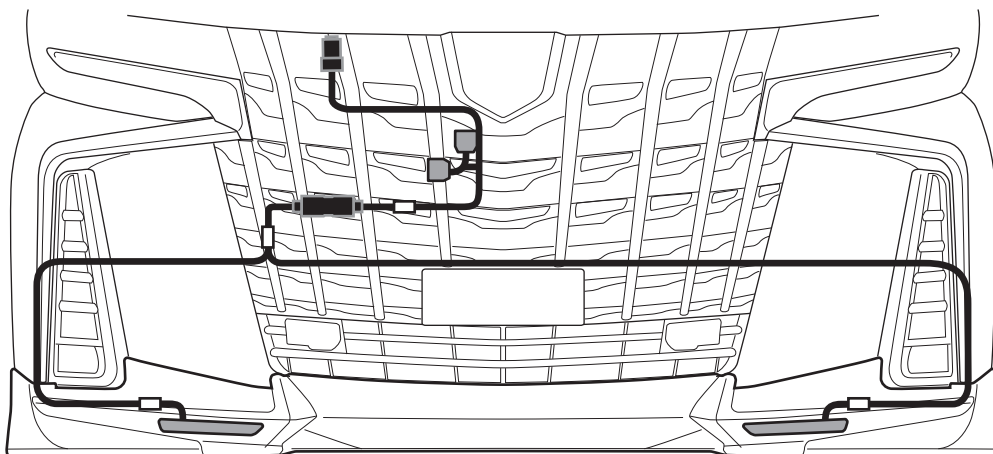
保証の詳細はTRDパーツカタログサイト<<http://www.trdparts.jp/>>

「保証について」をご覧ください。

取付構成図



(LEDデイトタイムランプ)



【塗装済み品の取付けは、9ページに進み作業を行なってください。】

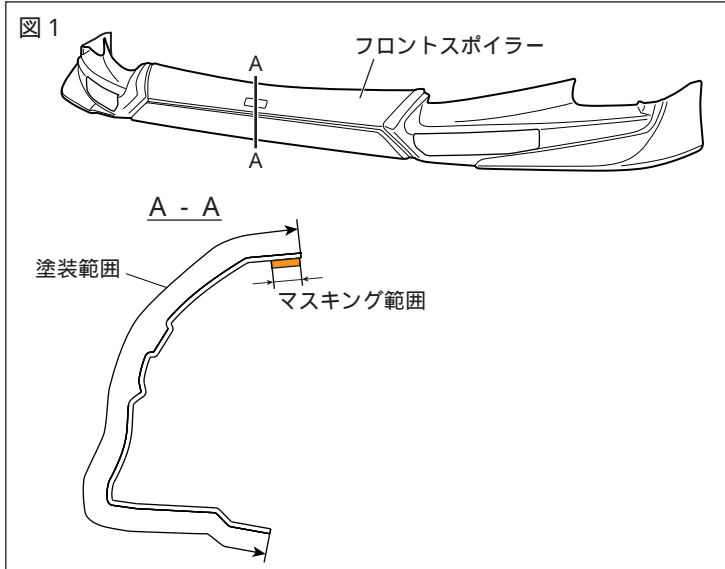
未塗装品の取扱いについて

下記は未塗装品（MS341-58032-NP）の塗装前、塗装後の作業を記載しています。
 下記要領に従い作業を行ってください。

本取付・取扱要領書は、主にLH側を示しており、RH側も同様に行ってください。

フロントスポイラーの塗装

1. 図1のようにフロントスポイラー を車両色で塗装する。



△注意：乾燥温度を70 以上に上げますと、製品に変形や割れが発生しますので乾燥温度には十分注意してください。強制乾燥させる場合は製品が変形しないように固定してください。

△警告：両面テープには、絶対に塗装しないでください。接着力が低下します。マスキングテープを貼るなどして、対応してください。

△注意：脱脂をする場合は、イソプロピルアルコール（以下IPAという）又はホワイトガソリンを使用し、シリコンオフおよびシンナーは使用しないでください。プライマーが溶ける恐れがあります。

2. 図2のようにフロントスポイラー にマスキングテープセット を貼り付けてマスキングし、艶消し黒(グロス10相当) で塗装する。

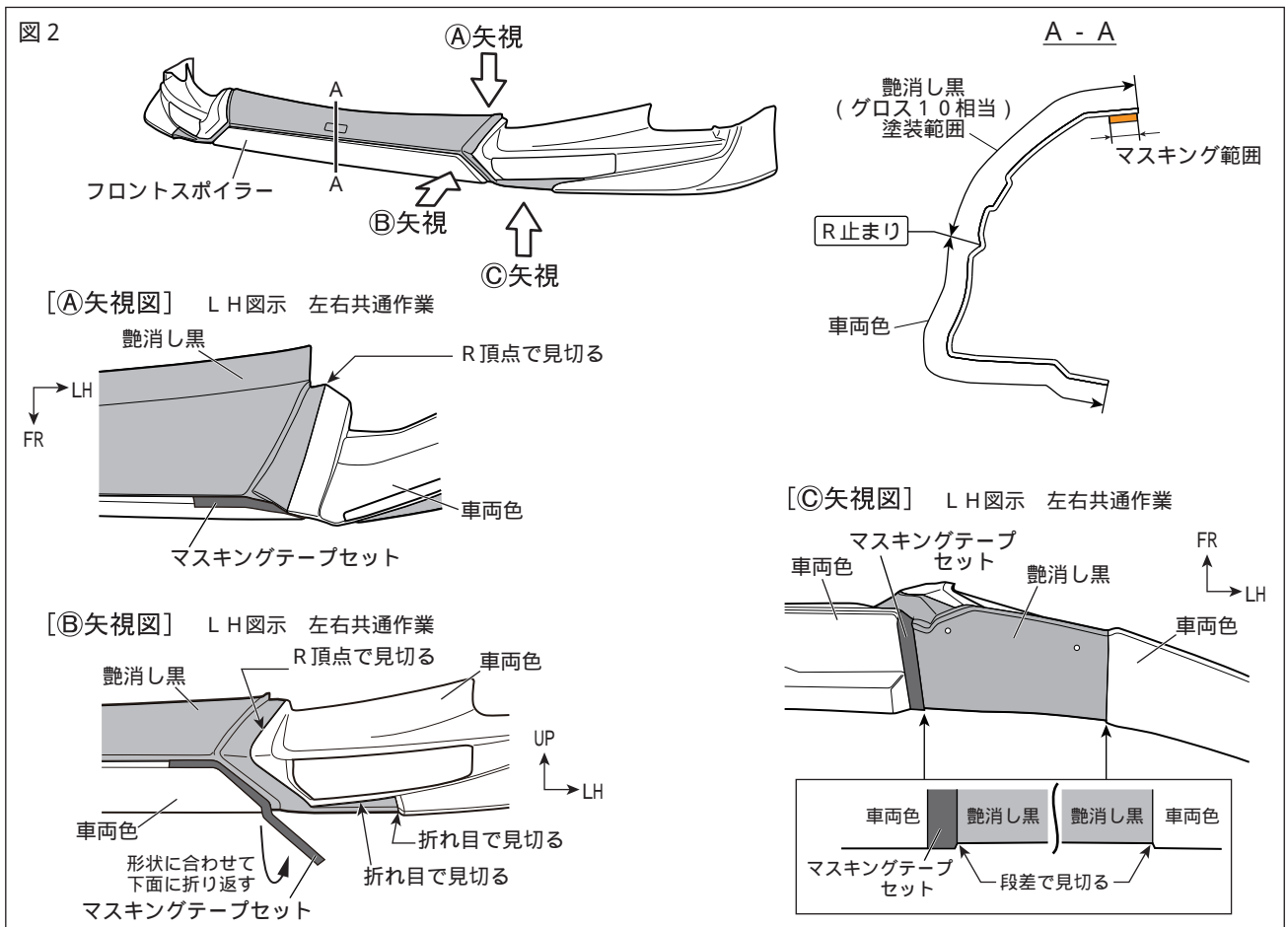


図3

裏面視

LH図示 左右共通作業

断面図

脱脂・プライマー
塗布範囲

脱脂・PACプライマー K-500 塗布範囲

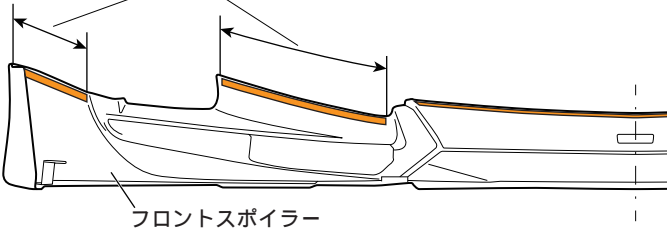


図4

裏面視

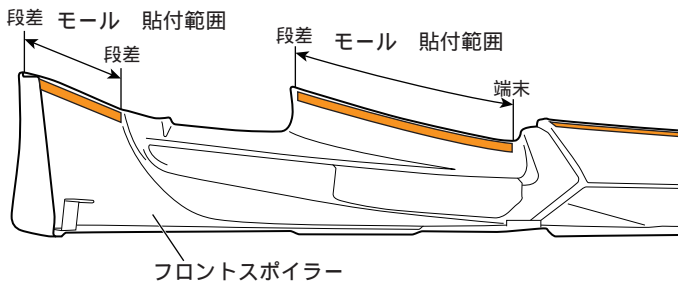
LH図示 左右共通作業

上面視

段差
段差まで貼付ける

上面視

段差 末端
段差から末端まで貼付ける



断面図

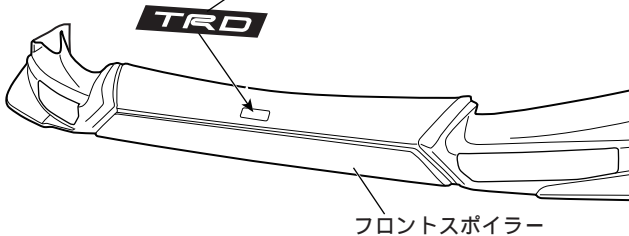
傷付き注意

巻き込みに注意し
隙間の無いように
貼付ける

モールド

図5

エンブレム



モールドの貼付け

1. 図3のようにモールド 貼付け部の汚れを取り除き、IPA又はホワイトガソリンで一方方向に拭いて脱脂し、モールド貼付け部のみPACプライマーK-500 を塗布する。

△注意：プライマーが塗布範囲以外に付着した場合は、直ちにホワイトガソリンやIPA等で拭き取ってください。付着してしまいますと、変色する事がありますので注意してください。

🔧 アドバイス：脱脂作業を行う際は、換気に注意して、火気を近づけないよう注意してください。

2. 図4のようにフロントスポイラー にモールドの両面テープの離型紙を剥がしながら、貼付け圧着する。モールドは長めに設定されているので、長さを合わせてハサミ等で切り落とす。

△注意：モールド は、二色同梱されています。塗装色に合わせてモールド色を選択し貼付けてください。

△注意：両面テープの接着力を最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及び車両の貼付け部をドライヤー等で約40 程度に温めてください。

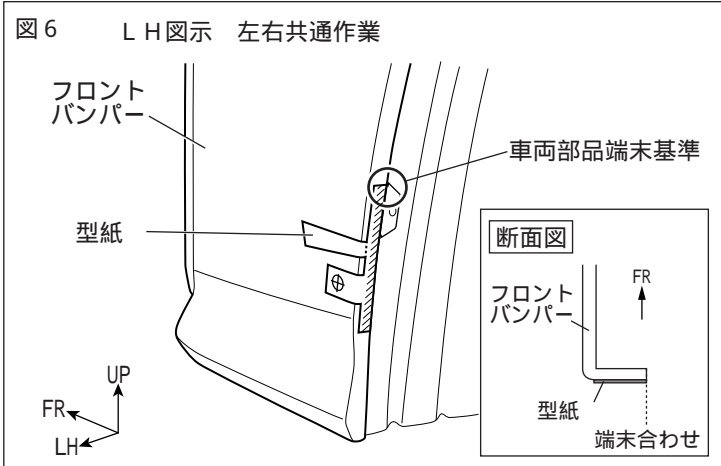
エンブレムの貼付け

1. 図5のようにフロントスポイラー 中央の座面を脱脂し、エンブレム を貼り付け圧着する。

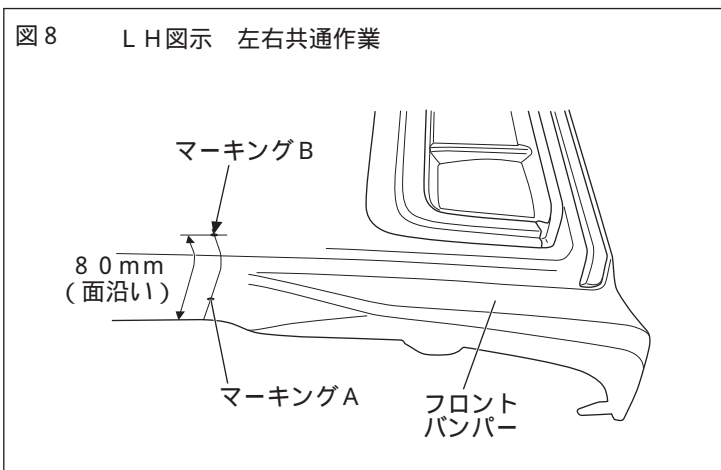
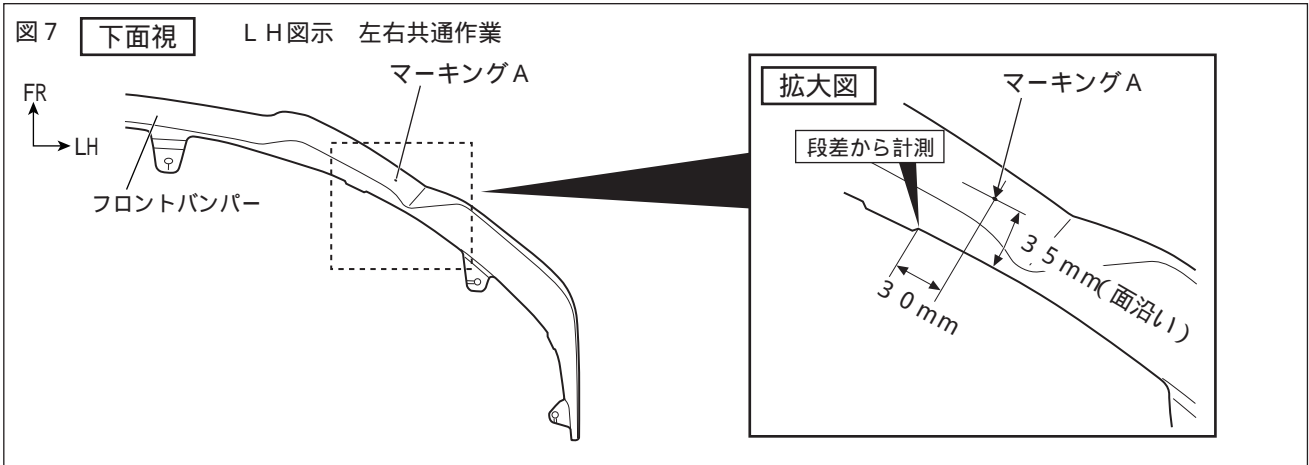
本取付・取扱要領書は、主にLH側を示しており、RH側も同様に行ってください。

フロントスポイラー取付準備

1. 図6のようにフロントバンパー側面に型紙を貼り付ける。



2. 図7のようにフロントバンパー下面の図示段差から外側に30mm(バンパー端末沿い)計測する。
3. 図7のようにフロントバンパー下面端末から垂直に35mm(面沿い)計測し、マーキングする。ここで付けたマーキングを「マーキングA」とする。

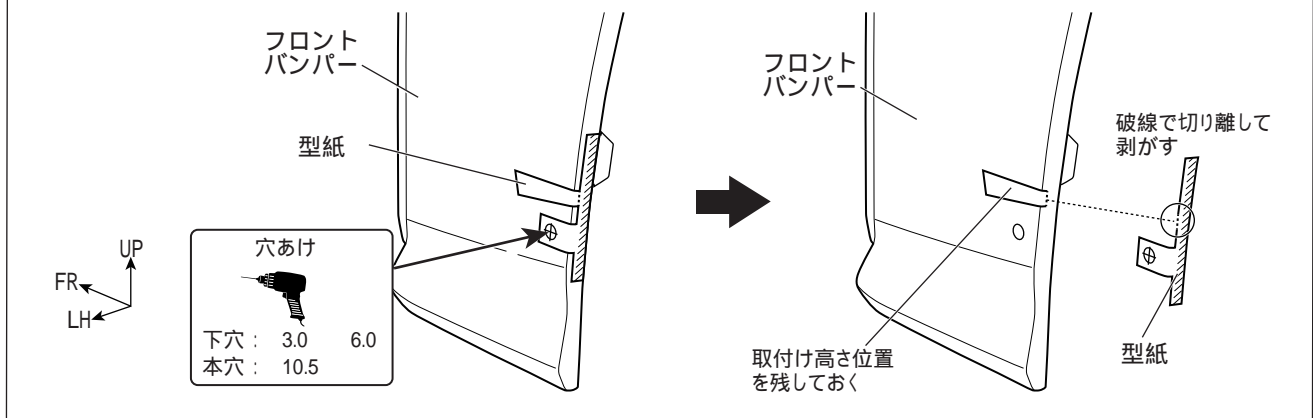


4. 図8のようにフロントバンパー下面端末から垂直に80mm(面沿い)計測し、マーキングする。ここで付けたマーキングを「マーキングB」とする。

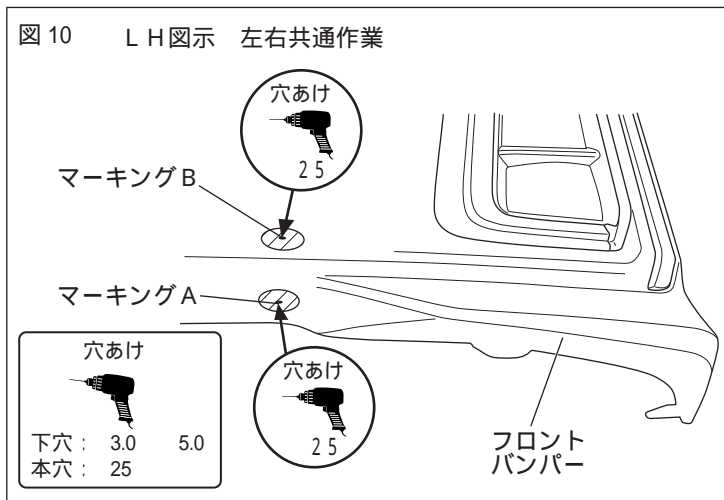
5. 該当車両の修理書に従い、車両からフロントグリルおよびフロントバンパーを取り外す。

6. 図9のようにフロントバンパー型紙の穴あけ位置に合わせて下穴を 3.0 6.0 の順であけ、10.5 の本穴をあける。穴あけ後、型紙の破線に沿って取り付け高さマーキングを残し、切り離して剥がす。

図9 LH図示 左右共通作業

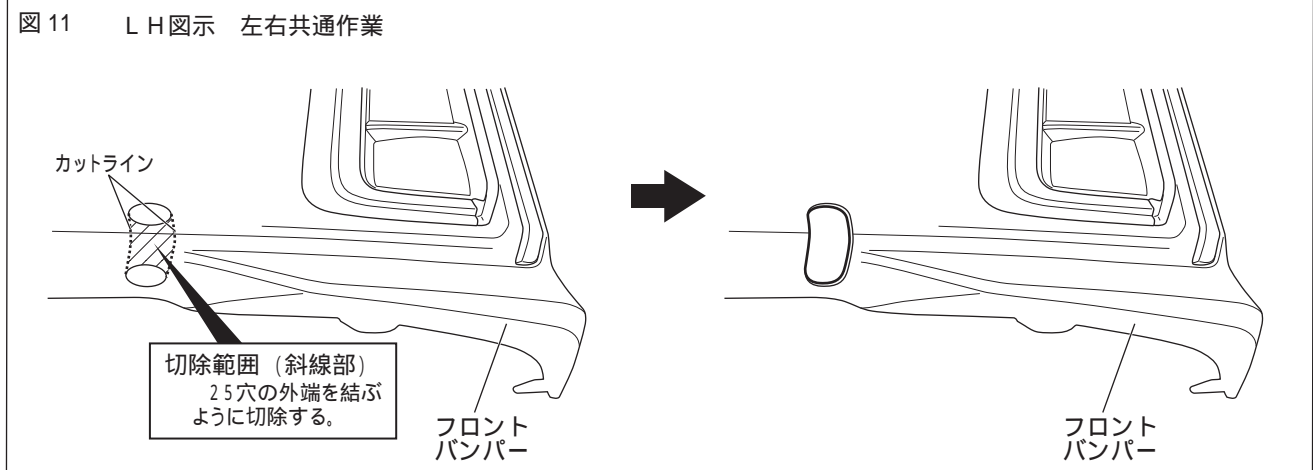


7. 穴周囲のバリを除去する。



8. 図10のようにフロントバンパーのマーキングA、マーキングB(9ページ 図8参照)に合わせて下穴を 3.0 5.0 の順であけ、25の本穴をあける。(左右各2箇所)

9. 図11のように上下にあけた 25穴の側端部を結ぶように切除加工する。

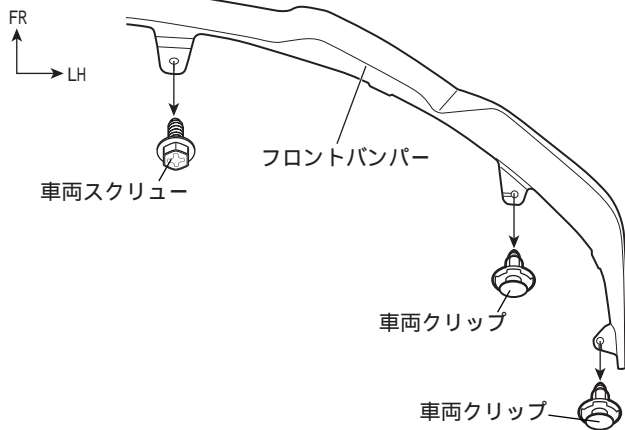


10. 穴周囲のバリを除去する。

🗣️ アドバイス：穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、マーキング位置からズレないように注意してください。

⚠️ 注意：作業時は保護メガネを着用してください。

図 12 拡大図 LH図示 左右共通作業

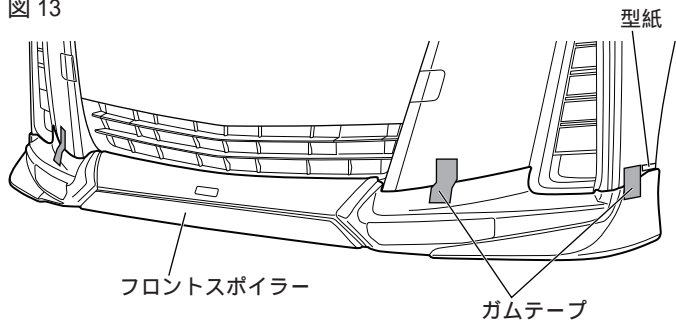


11. 該当車両の修理書に従い、フロントバンパーを取り付ける。
左図位置フロントバンパー下面の車両スクリュー、車両クリップは取り付けないでください。

- ・車両スクリュー 左右各1箇所
- ・車両クリップ 左右各2箇所

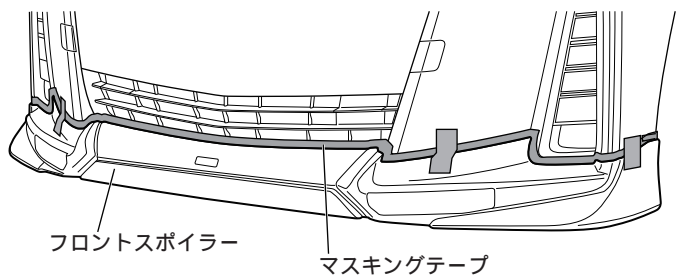
△注意：取り外した車両スクリュー、車両クリップは再使用しますので、無くないように必ず保管してください。

図 13



12. 図 13 のようにフロントバンパーにフロントスポイラーをかぶせ、フロントスポイラーのモール上端を型紙の取り付け高さに合わせてガムテープ等で仮固定する。

図 14 LH図示 左右共通作業

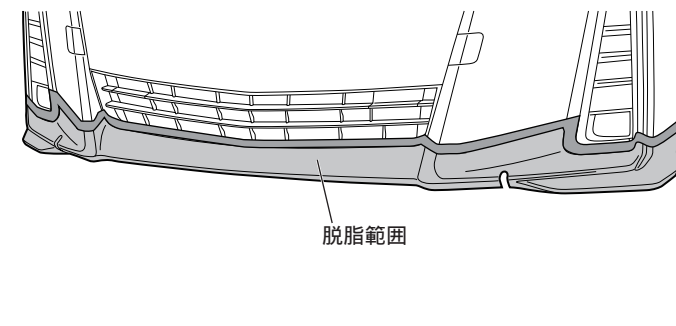


13. 図 14 のようにフロントスポイラーの上端 (モール貼付け部はモール上端) に合わせてマスキングテープを貼り付ける。

△注意：PACプライマー塗布範囲のマスキング作業のため正確な位置出し、マスキングを行ってください。

14. フロントスポイラーを取り外す。

図 15

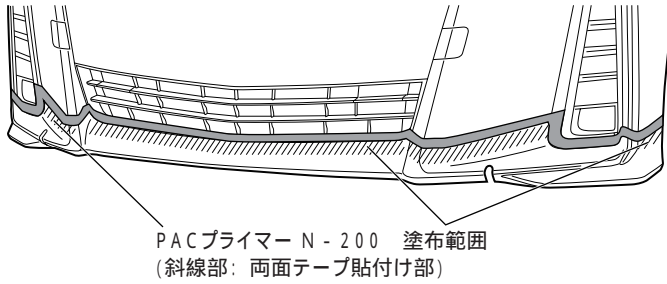


15. 図 15 のようにフロントスポイラーの両面テープ貼付け部の汚れを取り除き、IPA又はホワイトガソリンで一方向に拭いて脱脂する。

△注意：脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

👉アドバイス：脱脂後は、十分に乾燥させてください。

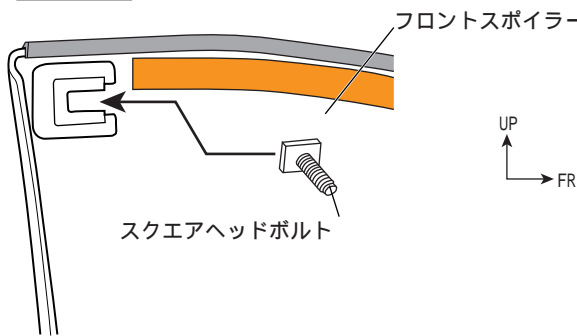
図 16



16. 図 16 のようにフロントスポイラー の両面テープ貼付け部 (左図斜線部) に PAC プライマー N-200 を塗布する。

△注意: プライマーが塗布範囲以外に付着した場合は、直ちにホワイトガソリンや IPA 等で拭き取ってください。付着してしまいますと、変色する事がありますので注意してください。

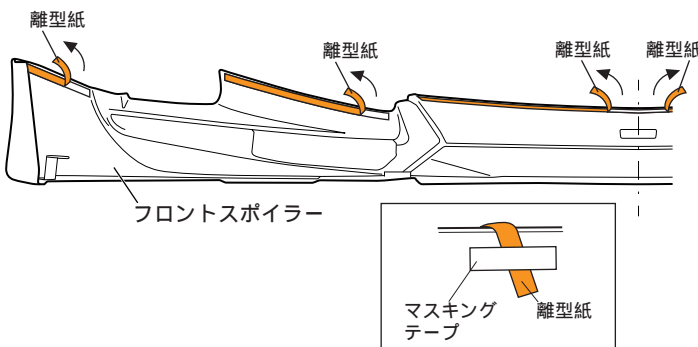
図 17 裏面視 L H 図示 左右共通作業



17. マスキングテープを剥がす。
型紙 は剥がさないでください。

18. 図 17 のようにフロントスポイラー にスクエアヘッドボルト を取り付ける。
(左右各1箇所)

図 18 裏面視 L H 図示 左右共通作業



19. 図 18 のようにフロントスポイラー の両面テープの離型紙を矢印の方向に約 30mm 剥がしてマスキングテープ等で表側に貼付ける。

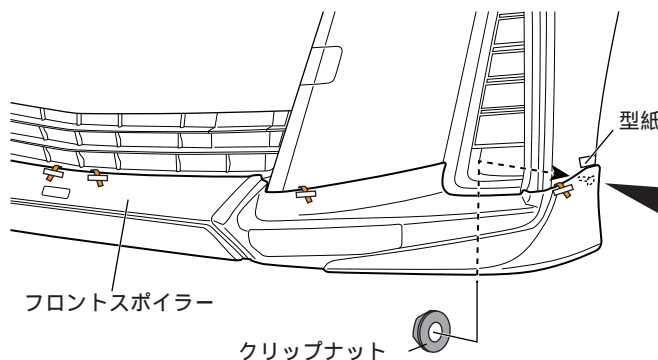
△注意: 両面テープの接着力を最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及び車両の貼付け部をドライヤー等で約 40 程度に暖めてください。

本取付・取扱要領書は、主に LH 側を示しており、RH 側も同様に行ってください。

フロントスポイラーの取付要領

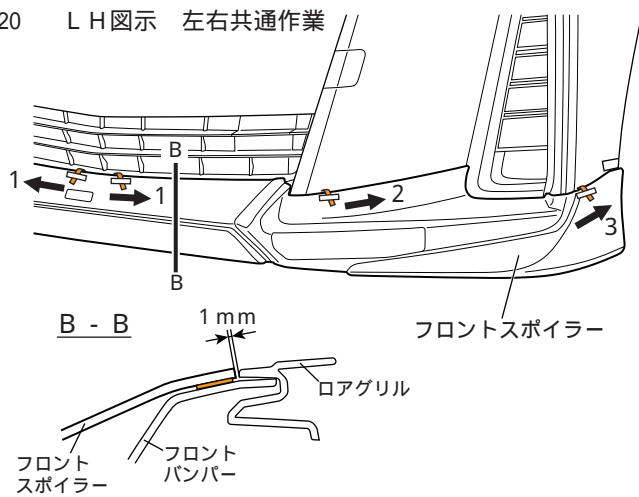
1. 図 19 のようにフロントバンパーにフロントスポイラー を型紙 の取付高さ位置を合わせてかぶせ、側面をクリップナット で仮締めする。

図 19 L H 図示 左右共通作業



△注意: 取り付け高さ位置にフロントスポイラーが届かない場合は、側面にあけた穴を上方に広げて調整してください。

図 20 LH 図示 左右共通作業



2. 図 20 のように各部の位置、隙を確認して両面テープの離型紙を矢印の方向へ番号順に剥がしながら貼付け圧着する。

△注意：両面テープの離型紙を指示した順に剥がさなかった場合、隙が発生する恐れがあります。

3. クリップナット を本締めする。
4. 型紙 を剥がす。

アドバイス 両面テープの接着力は安定するまで3～5時間程度必要です。製品の取付け後は、最低3時間程度、強い振動や風圧（車両の移動を含む）が、掛からないようにオープンタイム（静止時間）お取りください。

警告 両面テープは十分に圧着してください。圧着が不十分な場合、浮き・剥がれ等の症状が発生し脱落などの重大な不具合が発生する可能性があります。両面テープ接着後、24時間以内は雨・洗車等で接着部に水が掛からないようにしてください。接着力が低下し、剥がれ・脱落等が発生する可能性があります。

LEDデイトタイムランプ取付けについて

下記は、LEDデイトタイムランプ取付け準備・配線取廻し作業を記載しています。該当車両の修理書（トヨタ自動車㈱発行）に従い、本書の注意事項・要領のとおり作業を行ってください。

本取付・取扱要領書は、主にLH側を示しており、RH側も同様に行ってください。

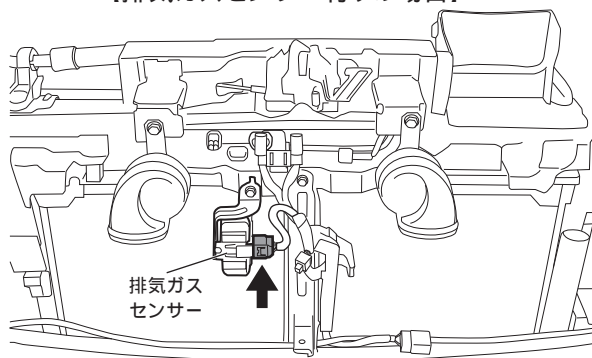
（LEDデイトタイムランプ取付け要領）

5. バッテリーの⊖端子を取り外し、該当車両の修理書に従い、車両からフロントバンパーを取り外す。

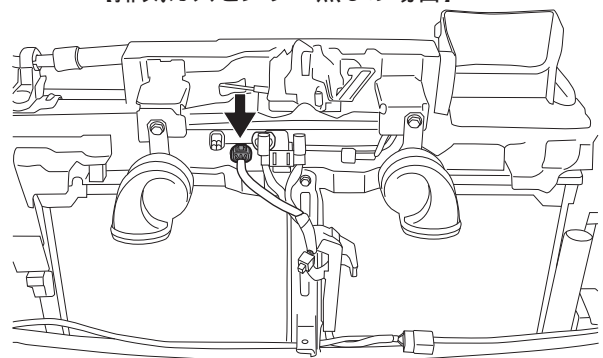
排気ガスセンサー有り・無し共通の項目は、主に排気ガスセンサー有りのイラストで図示しています。

6. 図 21 の↑ 部にある6Pコネクターを取り外す。

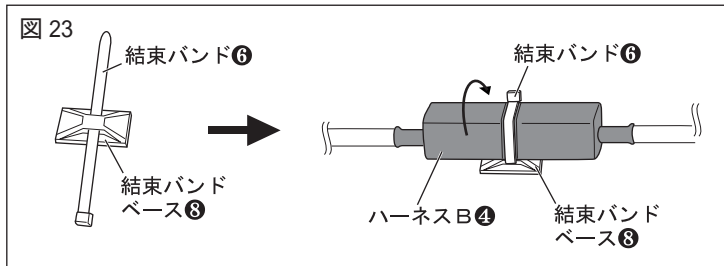
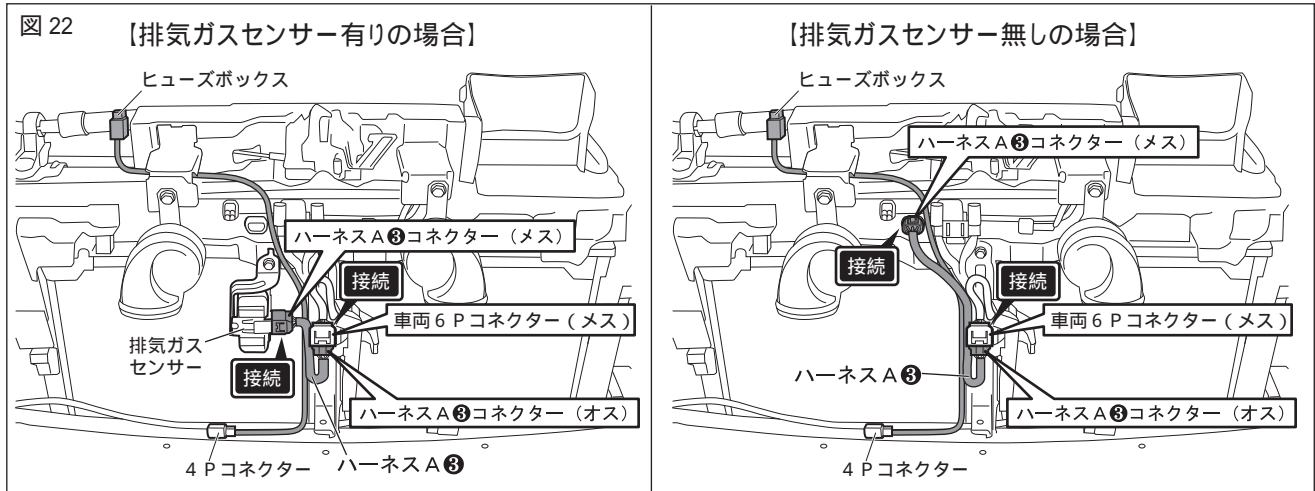
図 21 【排気ガスセンサー有りの場合】



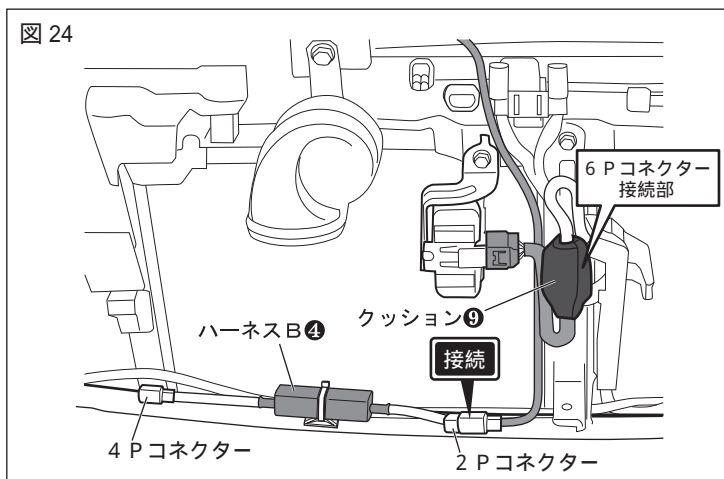
【排気ガスセンサー無しの場合】



7. 図 22 のように 13 ページ 6. で外した6Pコネクタと排気ガスセンサーの間にハーネスA③を接続し、仮配策する。



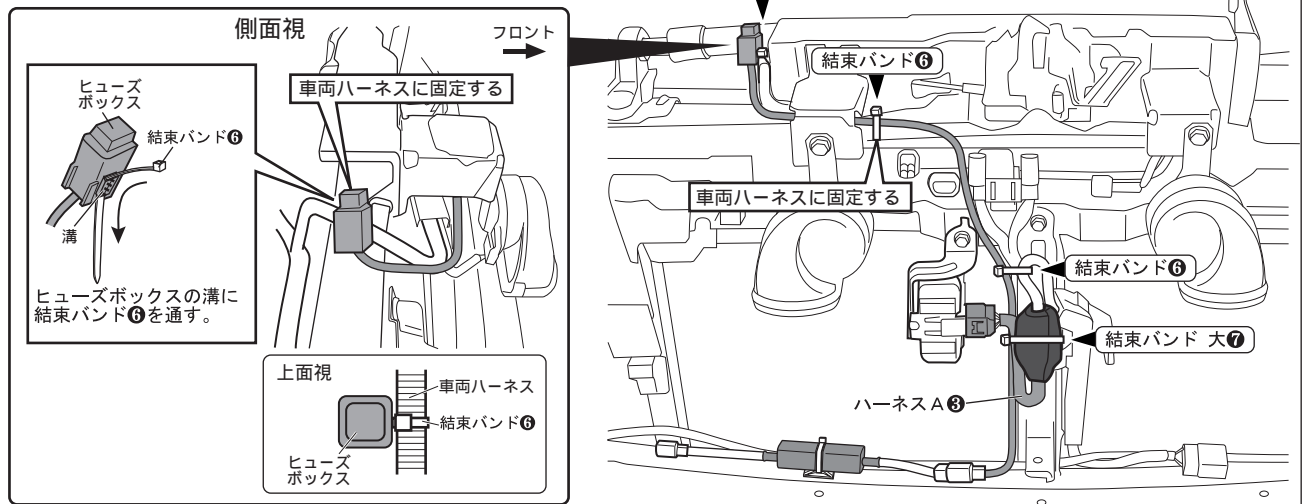
8. 図 23 のように、結束バンドベース⑧に結束バンド⑥を通し、ハーネスB④のユニット部中央に結束する。



9. ハーネスA③とハーネスB④を接続する。
(2Pコネクタ-接続)
※結束バンドベース⑧は、フロントバンパー取付け後に貼り付けます。
10. 図 24 のように、ハーネスA③の6Pコネクタ-接続部にクッション⑨を巻き付ける。

11. 図 25 のように、ハーネスA③のハーネスの余長を調整し、結束バンド⑥、結束バンド大⑦で仮固定する。
 ※結束バンドの本固定は、フロントバンパー装着後に行う為、ここではハーネスが調整できる程度に仮固定してください。

図 25 【排気ガスセンサー有りの場合】



【排気ガスセンサー無しの場合】

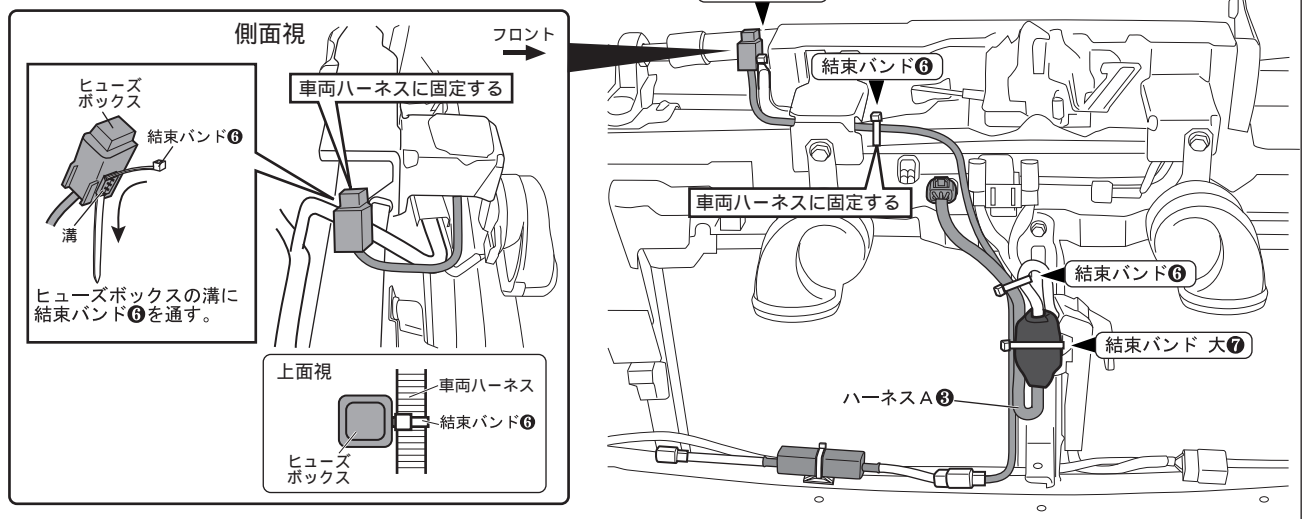
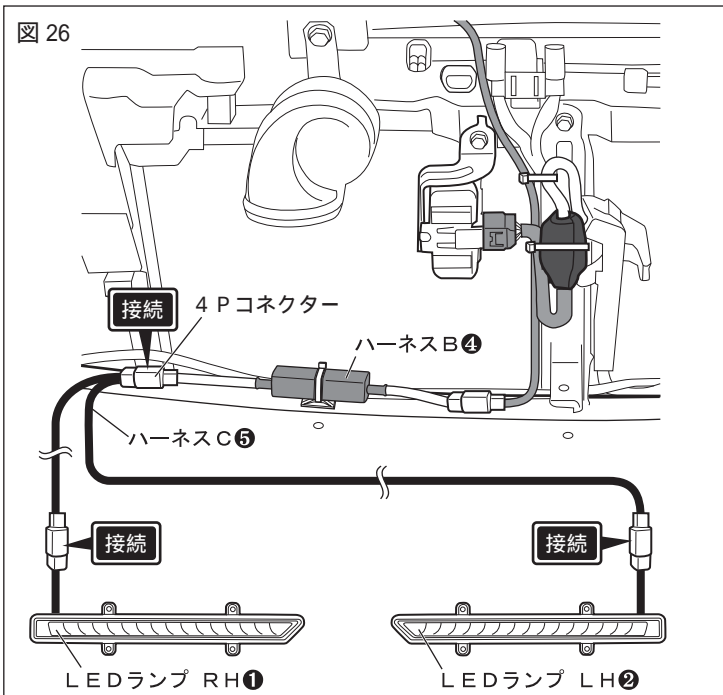


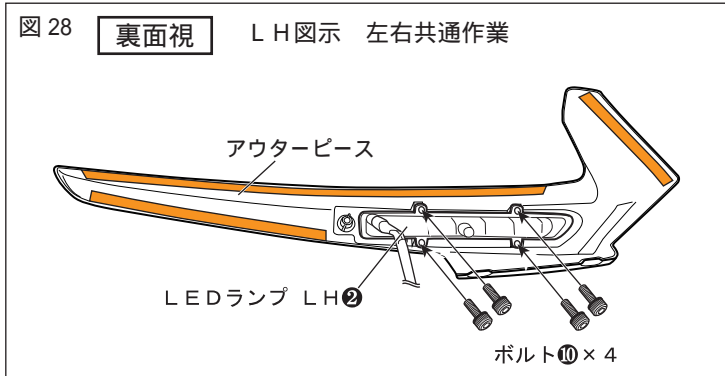
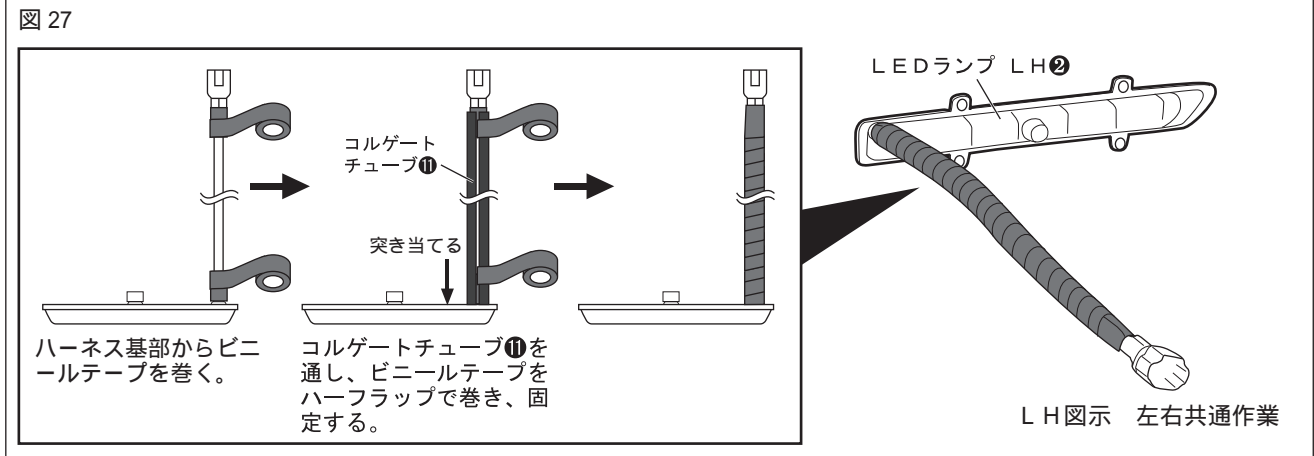
図 26



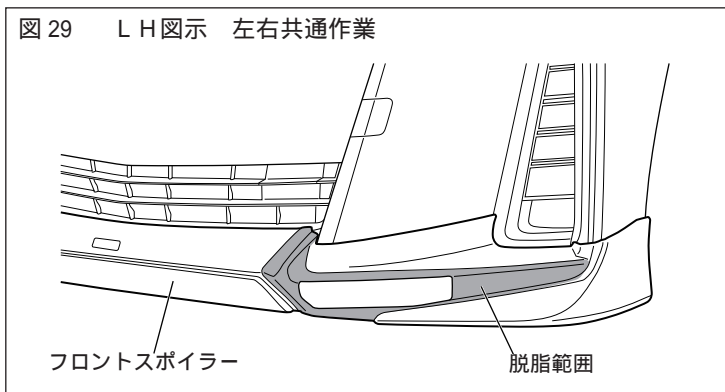
単体点灯確認

12. 図 26 のようにハーネスB④にハーネスC⑤ (4Pコネクタ) を接続し、ハーネスC⑤に LEDランプ①② (2Pコネクタ) を接続する。
13. バッテリーの⊖端子を仮接続し、イグニッションONの状態にしてLEDランプが正常に点灯することを確認する。
14. 仮接続した⊖端子とLEDランプ①②のコネクタを外す。

15. 図 27 のようにコルゲートチューブ①をLEDランプ①②のハーネスに通してビニールテープを巻き、固定する。
(左右各1箇所)



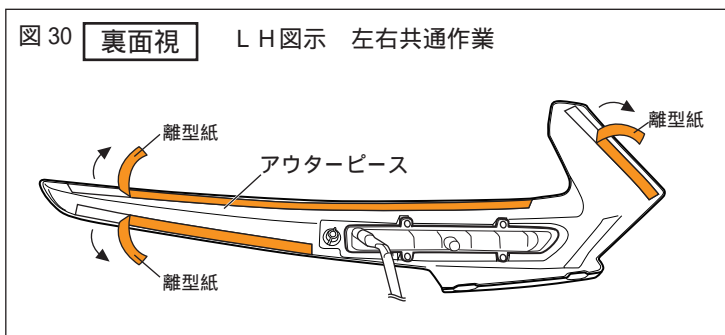
16. 図 28 のようにアウターピース②にLEDラン
プ①②をボルト⑩で固定する。



17. 図 29 のようにフロントスポイラー のアウ
ターピース 貼付け部の汚れを取り除き、IPA
又はホワイトガソリンで一方向に拭いて脱脂
する。(左右各1箇所)

△注意：脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使
用しないでください。油脂分が残り、
テープが剥がれる原因になります。

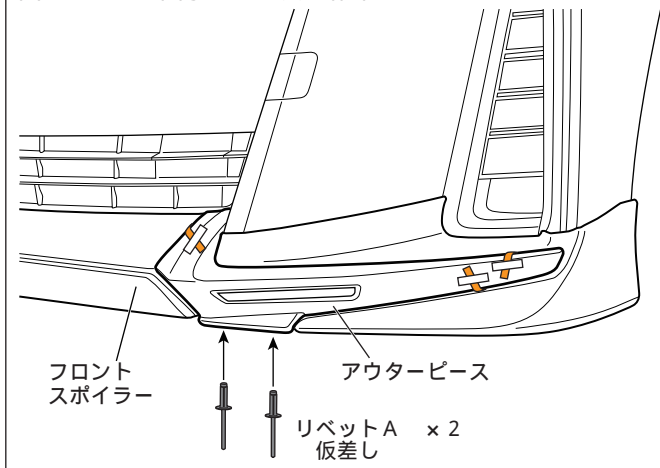
🔧アドバイス：脱脂後は、十分に乾燥させて
ください。



18. 図 30 のようにアウターピース の両面テー
プの離型紙を矢印の方向に約30mm 剥が
してマスキングテープ等で表側に貼付ける。

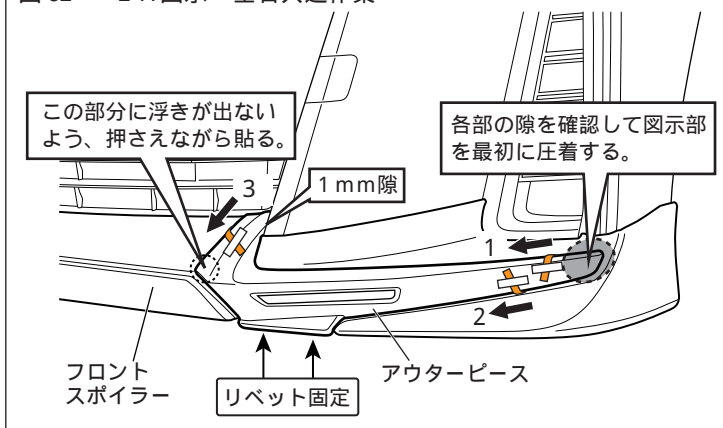
△注意：両面テープの接着力を最大限に発揮
させる為、貼付け作業前に両面テー
プ部及び車両の貼付け部をドライヤ
ー等で約40 程度に暖めてください。

図 31 L H 図示 左右共通作業



19. 図 31 のようにフロントスポイラー にアウトーパー
ース をかぶせ、下面の穴にリベット
A を仮差しして仮固定する。
(左右各2箇所)

図 32 L H 図示 左右共通作業



20. 図 32 のように取付け位置及び各部の相沿
いを確認して両面テープの離型紙を矢印の
方向へ番号順に剥がしながら貼付け圧着す
る。

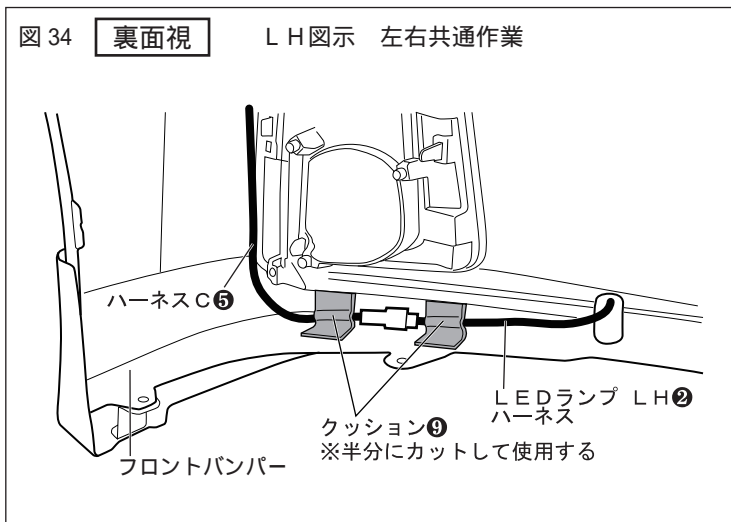
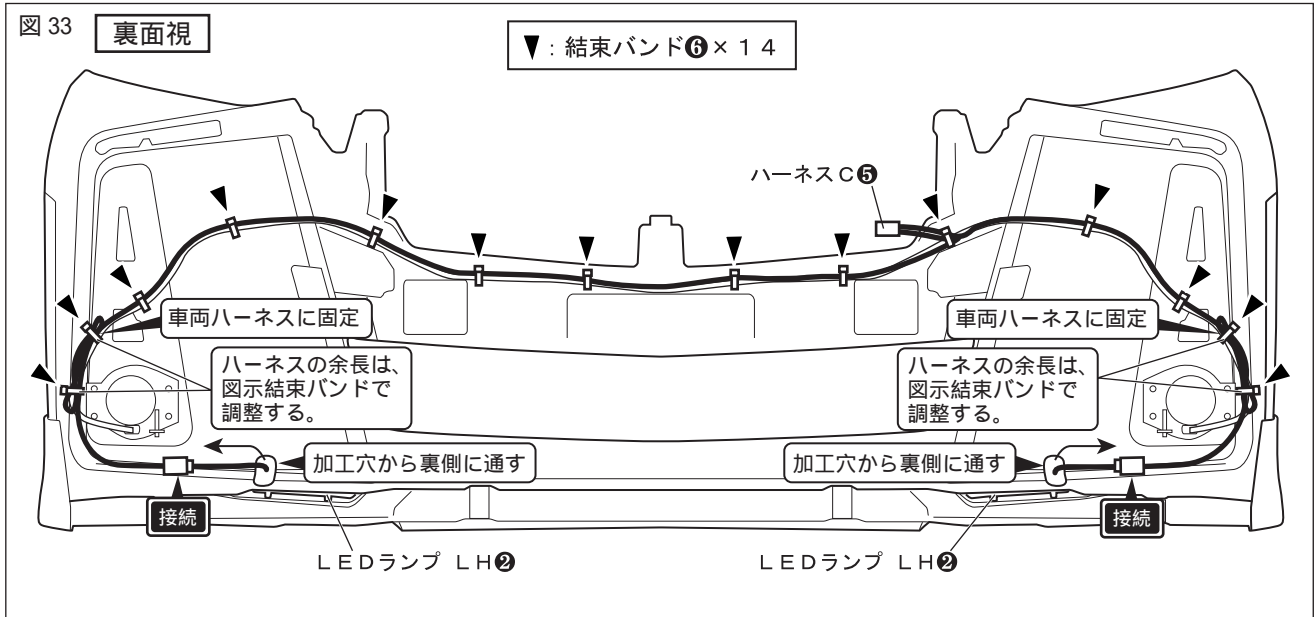
21. 圧着後、仮差したリベットA を固定する。
(左右各2箇所)

△注意：両面テープの離型紙を指示した順に
剥がさなかった場合、隙が発生する
恐れがあります。

アドバイス 両面テープの接着力は安定するまで3～5時間程度必要です。
製品の取付け後は、最低3時間程度、強い振動や風圧（車両の移動を含む）が、
掛からないようにオープンタイム（静止時間）お取りください。

警告 両面テープは十分に圧着してください。圧着が不十分な場合、浮き・剥がれ等の症状が発生し
脱落などの重大な不具合が発生する可能性があります。
両面テープ接着後、24時間以内は雨・洗車等で接着部に水が掛からないようにしてください。
接着力が低下し、剥がれ・脱落等が発生する可能性があります。

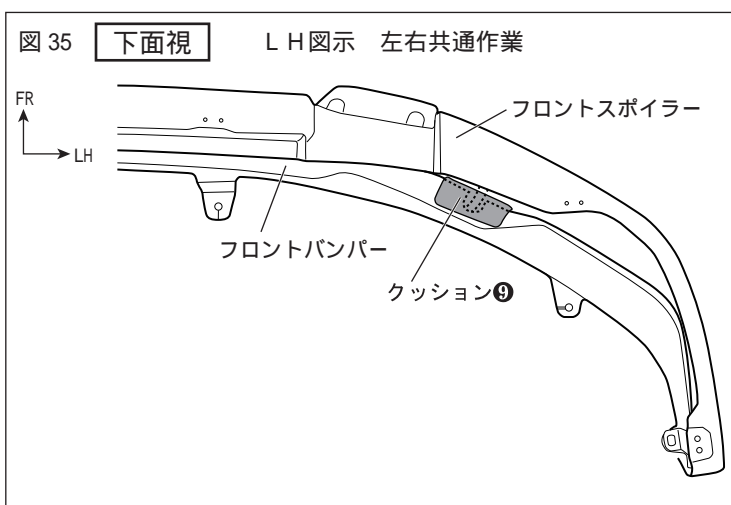
22. 図 33 のようにフロントバンパー裏側の車両ハーネスに沿わせてハーネスC⑤を配策し、結束バンド⑥で車両ハーネスクリップに仮固定（調整が出来る程度）する。
23. 図 33 のようにLEDランプ①②のハーネスをフロントバンパー裏側に加工穴から引き込み、ハーネスC⑤と接続する。



24. 図 34 のようにクッション⑨を半分にカットしてフロントバンパー裏側にハーネスを貼り付ける。
※貼付け部は、必ず脱脂してください。

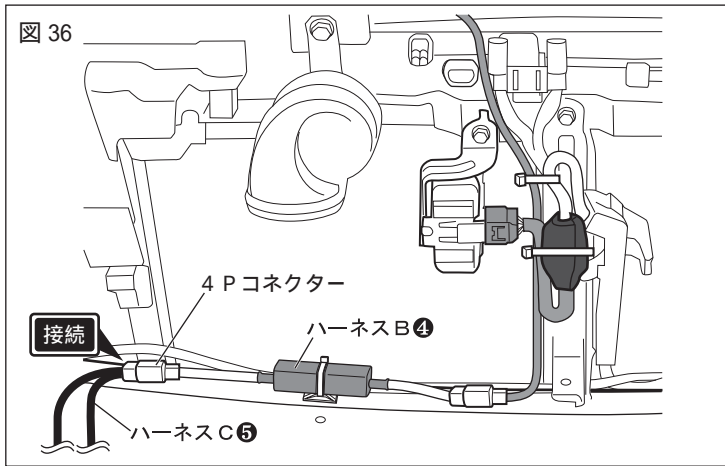
👉 アドバイス: クッション⑨の貼付けは、コネクタの前後に貼り付けてコネクタがガタ付かないように行ってください。

25. フロントバンパー裏側に配策したハーネスC⑤の余長を調整し、仮止めしていた結束バンド⑥を本固定する。(図 33 参照)



26. 図 35 のようにフロントバンパー下面の加工穴を塞ぐように表面からクッション⑨を貼り付ける。
※貼付け部は、必ず脱脂してください。

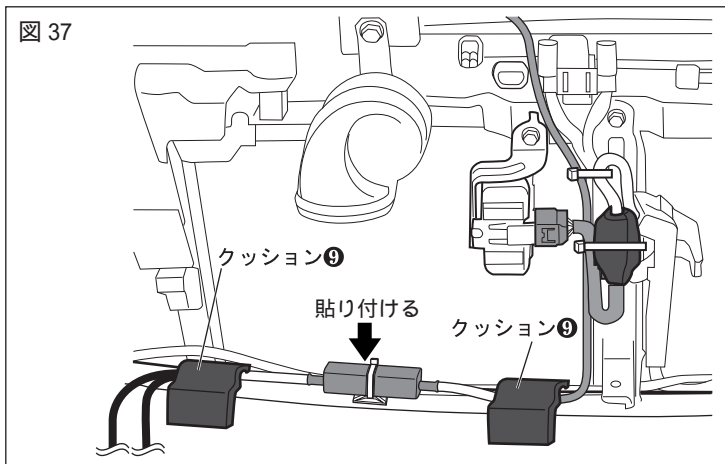
27. 修理書に従い、フロントバンパーを取り付ける。
11 ページ作業 11. で指示した下面左右の車両スクリュー、車両クリップは、ここでは取り付けないでください。



28. 図 36 のようにハーネスB④とハーネスC⑤の4Pコネクタを接続する。

点灯確認

29. バッテリーの⊖端子を仮接続し、イグニッションONの状態にしてLEDランプが正常に点灯することを確認する。
30. 仮接続した⊖端子を取り外す。



31. 図 37 のように、ハーネスB④に取り付けた結束バンドベース⑧をリーンホース上面に貼り付ける。
※貼付け部は、必ず脱脂してください。
32. 図 37 のように、ハーネスA③、ハーネスB④及び、ハーネスB④、ハーネスC⑤のコネクタ接続部をクッション⑨でリーンホース上面に貼り付ける。
※貼付け部は、必ず脱脂してください。
33. 車体側に配策したハーネス類の余長を調整し、仮固定していた結束バンド⑥、結束バンド大⑦を本固定する。
(15 ページ 図 25 参照)
34. 該当車両の修理書に従い、車両にフロントグリルを取付ける。

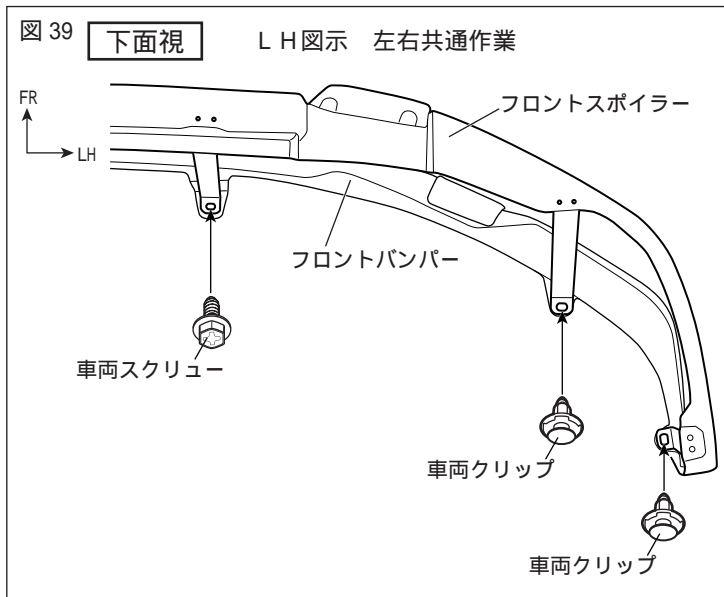
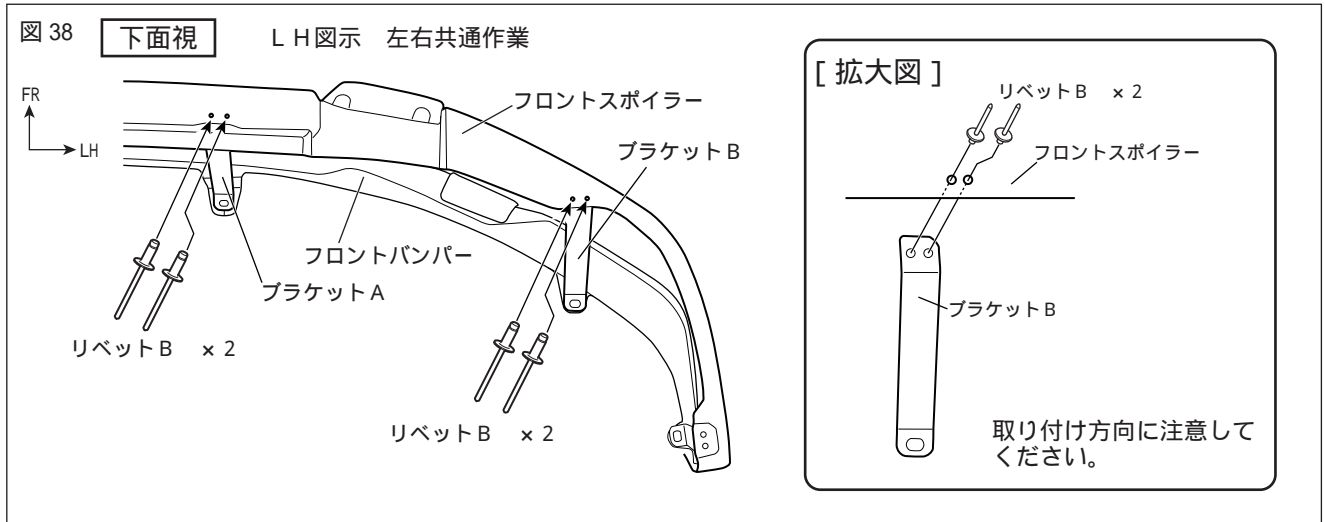
すべての作業が完了後、⊖バッテリーターミナルを本締めし、該当車両の修理書に従い、各部センサー・灯火類等の調整・再設定を行ってください。

【⊖バッテリーターミナルの締め付けトルク：5.4 N・m】

取付け後の確認・注意事項

- ・ハーネスに無理な力が掛かっていないか、噛み込みや鋭利なエッジ部に干渉が無い事を確認する。

35. 図 38 のようにフロントスポイラー 下面にブラケットA、ブラケットB をリベットB で固定する。
(左右各2箇所)



36. 図 39 のようにフロントスポイラー 下面を
車両スクリュー、車両クリップで固定する。

- ・車両スクリュー 左右各1箇所
- ・車両クリップ 左右各2箇所

アドバイス 両面テープの接着力は安定するまで3～5時間程度必要です。
製品の取付け後は、最低3時間程度、強い振動や風圧（車両の移動を含む）が、
掛からないようにオープンタイム（静止時間）お取りください。

警告 両面テープは十分に圧着してください。圧着が不十分な場合、浮き・剥がれ等の症状が発生し
脱落などの重大な不具合が発生する可能性があります。
両面テープ接着後、24時間以内は雨・洗車等で接着部に水が掛からないようにしてください。
接着力が低下し、剥がれ・脱落等が発生する可能性があります。

取付完了後の点検・注意事項

1. 製品全周に渡り、浮き・剥がれ等、無いことを確認する。
2. 車両及びフロントスポイラー廻りに傷が付いていないことを確認する。
3. 取り外したコネクター類を確認する。
4. 本取付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。
該当車両の修理書（トヨタ自動車㈱発行）に従い、各部の点検・調整・設定を行ってください。

回路図

